

# 愛知県農業総合試験場が開発したトマト新品种

平成26年3月11日付けで種苗法に基づく品種登録出願

## サンドパル(試交10-2)

赤色の果色で、カットやスライス用に適し、  
単為結果性を持つ新品种です



### 問題点

流通しているトマトは、ゼリー部の割合が高く、果汁が液だれしやすい



着果



単為結果性により、着果のための作業が不要

### 新品种の特徴

- (1) サラダやサンドイッチなど、カットやスライス用に適する品種です。果色は赤色で、果実の重さは200g程度です。
- (2) 単為結果性(たんいけっかせい)\*を持っているため、果実を着果させるための植物成長調節剤処理やマルハナバチ(訪花昆虫)などによる受粉が不要です。\* 受粉・受精がなくても果実が形成される性質
- (3) 空洞果の発生は極めて少なく、花落ち部は小さいため、果実の外観が優れます。
- (4) 萎ちょう病など主要病害に抵抗性を示します。

愛知県は全国第3位のトマト生産県です。消費者と生産者の双方のニーズに応えたこの品種の導入により、トマトのさらなる消費拡大が期待できます。